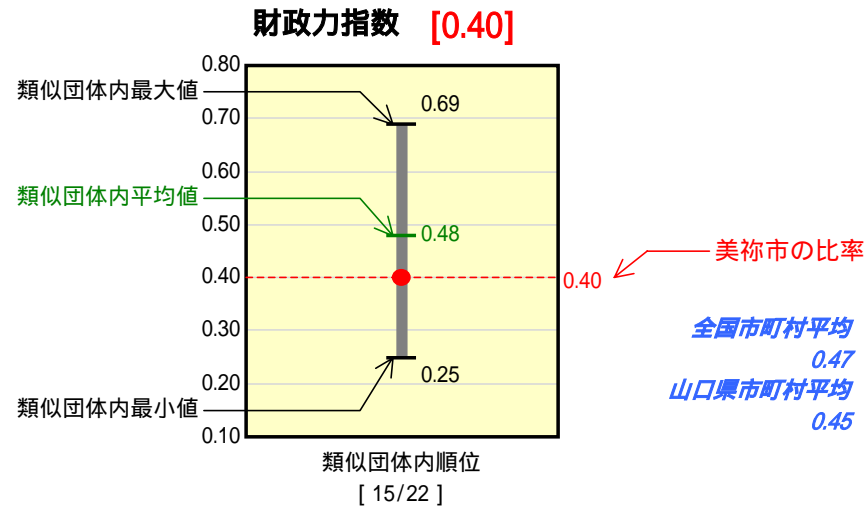


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

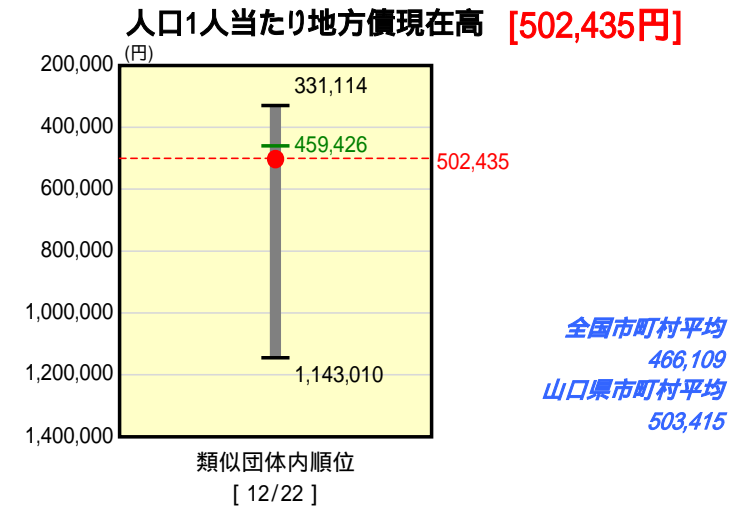
## 山口県 美祢市

人口	18,362 人(H17.3.31現在)
面積	228.25 km <sup>2</sup>
歳入総額	9,647,052 千円
歳出総額	9,506,796 千円
実質収支	133,934 千円

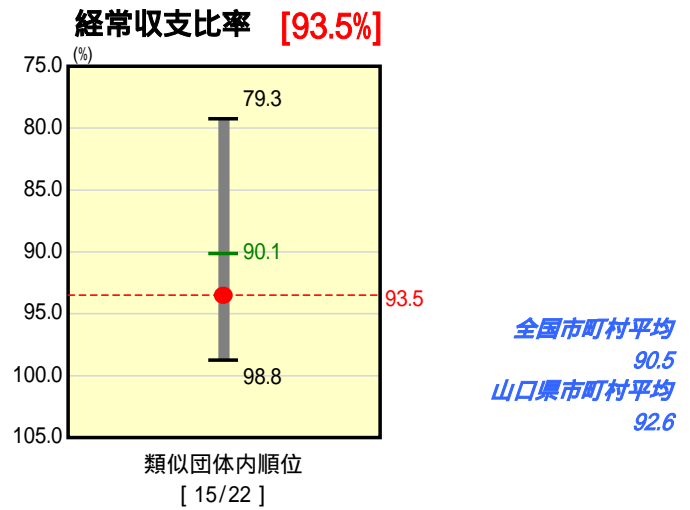
### 財政力



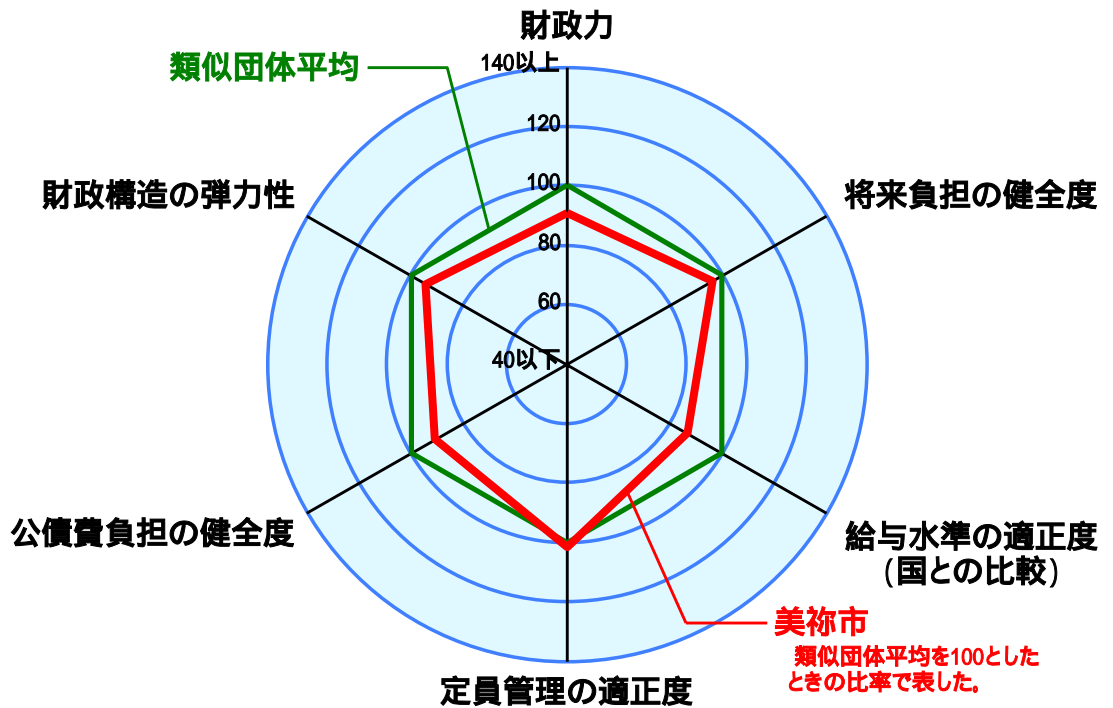
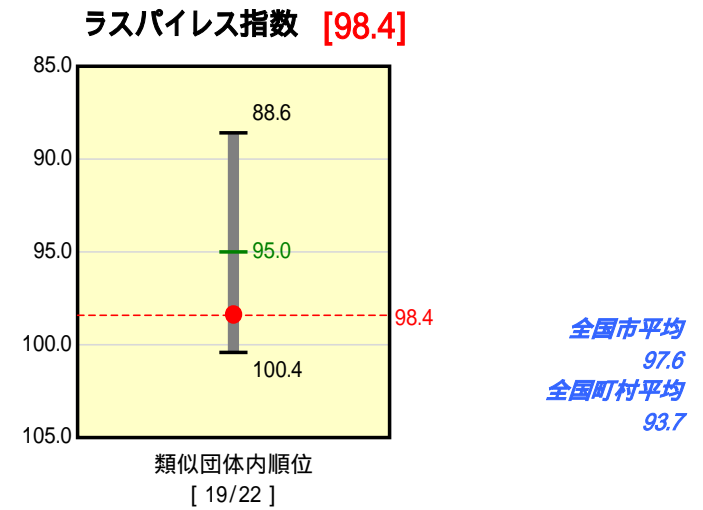
### 将来負担の健全度



### 財政構造の弾力性

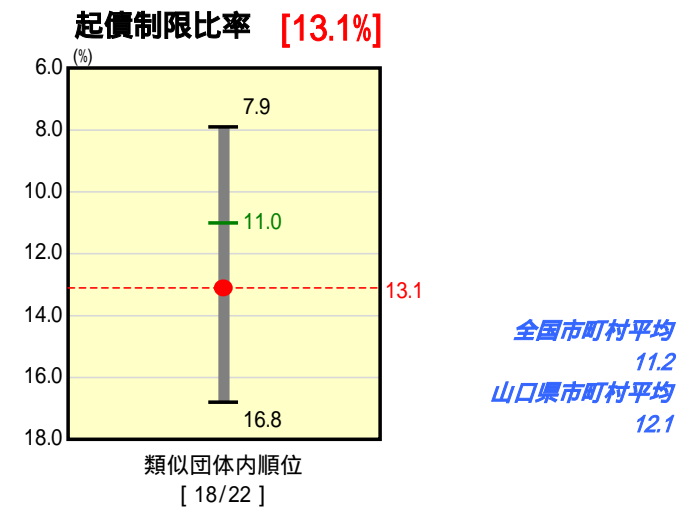


### 給与水準の適正度(国との比較)

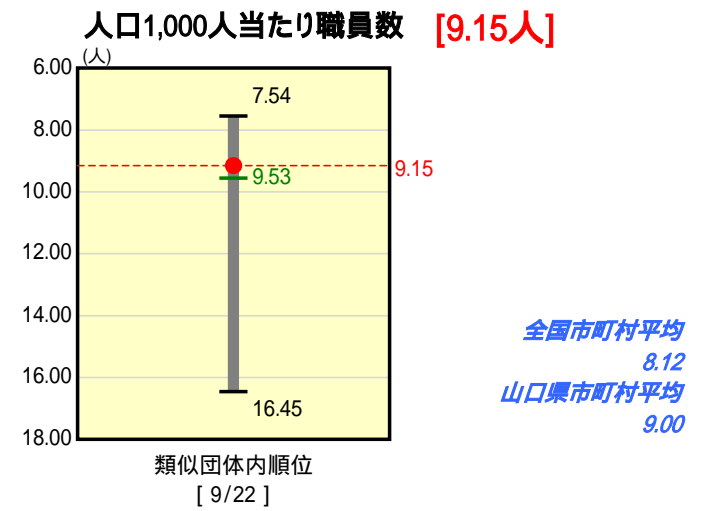


類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 公債費負担の健全度



### 定員管理の適正度



**分析欄**

**財政力指数**：人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(16年度末28.7%)に加え、財政基盤が脆弱であり、類似団体平均を下回っている。簡素で効率的な行政システムを確立するため、行政改革実施計画(集中改革プラン)に沿い、徹底した行財政改革を推進し、持続可能な財政構造への転換を図る。

**経常収支比率**：公債費の減少により対前年度比 0.8%となったものの、依然として類似団体を上回る財政の硬直化が進んだ状況にある。民間的経営手法の推進や行政評価システムの導入により事務事業の必要性、緊急性等を厳しく検証し、事務事業の不断の見直しを行う。また、各種団体が補助金への依存体質を改善し、財政的にも自立できるよう誘導し、経常的な補助金の抑制に努める。

**ラスパイレス指数**：これまでは類似団体平均を意識することはなかったが、今後は類似団体平均を意識して給与の適正化に引き続き努める。

**起債制限比率**：公債費が減少傾向にあり、起債制限比率も改善される傾向にある。地方税収入の伸び悩み等厳しい財政状況のなか、将来のあるべき姿を見据え、建設事業を取捨選択し、公債費負担の適正化に努める。

**人口1人当たり地方債現在高**：近年、市債発行の抑制を行ってきたこともあり、地方債残高は減少傾向にある。今後とも世代間の負担の公平性にも配慮しながら、可能な限り市債発行の抑制を行う。

**人口1,000人当たり職員数**：平成11年4月1日から平成16年4月1日までの5年間で、18名(病院部門を除く 215 197名 8.4%)を削減してきたが、今後も指定管理者制度の推進、課の統廃合、行政評価システムの導入により引き続き定員管理の適正化に努める。